

地域とともにある
学校づくりのために

Community School
CS 通信

これまで発行したCS通信や「コミュニティ・スクール」に関する情報はこちらへ
 《子ども地域支援グループHP》
北海道 子ども地域支援 検索

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ

コミュニティ・スクールの導入・推進状況

～平成30年
4月1日現在～

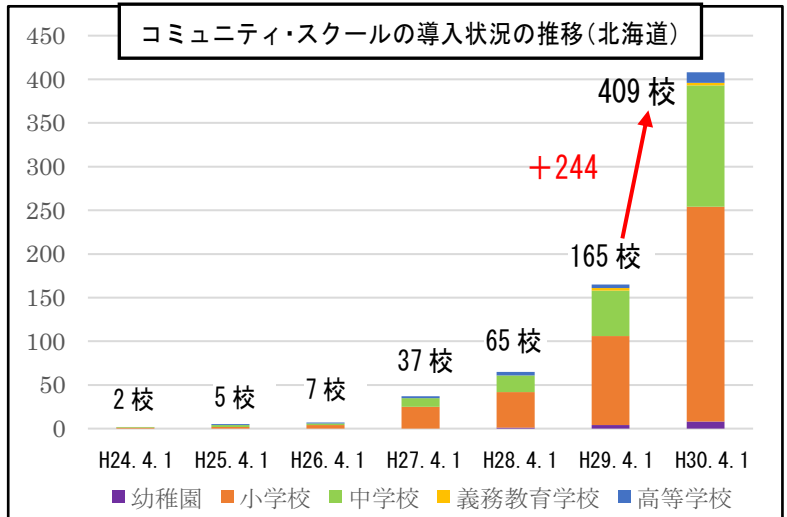
文部科学省は、平成30年6月に4月1日現在の全国のコミュニティ・スクールの導入状況を公表しました。北海道では導入校数が前年度比244校増の409校となり、国全体でも前年度比1,832校増の5,432校となるなど、道内はもとより、全国各地でCSの導入・推進は着実に広がっています。

【全国及び北海道の導入状況】()内は昨年度からの増加数 ※平成30年4月1日現在

	幼稚園	小学校	中学校	義務教育学校	中等教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
全 国	147	3,265	1,492	39	1	382	106	5,432
(増加数)	(+32)	(+965)	(+418)	(+15)	(±0)	(+317)	(+85)	(+1,832)
北海道	9	246	139	3	0	12	0	409
(増加数)	(+5)	(+144)	(+87)	(±0)	—	(+8)	—	(+244)

北海道の幼稚園には認定こども園を含む

- 北海道における、CSを導入している幼稚園を除く小・中・義務教育・高等学校の割合は、20.8%
 - 道内の86市町村がCSを導入済みで、うち47市町村は、域内の全校に導入
 - 幼稚園は、夕張市、ニセコ町、知内町、鹿部町の各1園の公立幼稚園と、安平町(2)、標津町(2)、上士幌町(1)のこども園
 - 高等学校は、市町立は札幌大通高校、ニセコ高校、壮瞥高校、知内高校、士幌高校の5校、道立は別海・栗山・寿都・夕張・追分・美瑛・清里高校の7校
- (※ 特別支援学校は、6月に夕張高等養護学校と新得高等支援学校に導入)



道教委が今年度開催するコミュニティ・スクール推進協議会

～各学校・地域の実情に応じたCSの計画的な導入と取組の推進に向けて～

管内	期日	開催地	管内	期日	開催地	管内	期日	開催地
空知	10月25日(木)	岩見沢市	渡島	8月31日(金)	函館市	オホーツク	8月27日(月)	網走市
石狩	9月10日(月)	札幌市	檜山	9月4日(火)	江差町	十勝	8月21日(火)	幕別町
後志	9月27日(木)	共和町	上川	11月16日(金)	旭川市	釧路	8月28日(火)	釧路市
胆振	11月16日(金)	室蘭市	留萌	9月27日(木)	苫前町	根室	7月10日(火)	標津町
日高	9月4日(火)	浦河町	宗谷	9月5日(水)	稚内市			

(調整により変更となる場合もあります)

今年度、各学校・市町村の実情に応じたCSの導入促進と取組の充実に向け、管内毎に「コミュニティ・スクール推進協議会」を開催します。各会場の日程・内容等の詳細は、開催日1ヶ月前を目途に各教育局からお知らせしますので、是非ご参加ください。

10月12日(金)は「全国CS研究大会 in 三笠」

【担当から】

学校と地域の一層の連携・協働が求められる中、コミュニティ・スクールの導入が教育委員会の努力義務となり、全国的に導入が加速化されています。今年度も「CS通信」を発行し、導入や取組の推進の参考となる取組などをお伝えします。(担当：子ども地域支援G 主査 吉村公孝)